

学習フィードバックシート

プロジェクト名： ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する - グループ名： Group2

担当教員名：三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行

学籍番号 1018097 氏名 須田恭平

1. 自己評価

評価項目	自己評価 (点数/満点)	評価基準
出席	10 /10	無断欠席回数： ・ 0回(10点) ・ 1回(5点) ・ 2回(0点)
週報	9 /10	標準点：7点 ・ すべて提出したか？ 不備はないか？ ・ 提出期限は守られているか？ ・ 報告事項の内容は十分か？
グループ報告書	7 /10	標準点：7点 ・ 誤字、脱字はないか？ 様式、体裁は整っているか？ ・ 十分な記述量があるか？ ・ 内容に矛盾がなく、再現性や合理性があるか？ ・ 客観的な記述がされているか？
発表会	4 /10	標準点：7点 ・ ポスターはわかりやすいか？ ・ 聴講者に理解してもらえたか？ ・ 説明方法は適切であったか？
外部評価	8 /10	標準点：7点 ・ 発表会やアンケートを通じた外部からの意見の評価・検討を十分行ったか？ ・ 外部意見を課題解決策に反映することができたか？ ・ 自分勝手な課題解決策になっていないか？
積極性・協調性	6 /10	標準点：7点 ・ 自ら積極的に課題を設定したか？ ・ 自ら積極的に課題の解決策を考案したか？ ・ 自ら積極的に課題を解決したか？ ・ 課題設定・解決のために議論を十分行ったか？ ・ メンバーとお互いに協力し合ったか？
計画性	16 /20	標準14点 ・ 適切な作業計画を立てることができたか？ ・ 適切な作業分担を行えたか？ ・ 計画通りに作業を進めることができたか？ ・ 必要に応じて柔軟に計画を修正できたか？
成果	14 /20	標準14点 ・ プロジェクト遂行に必要な知識・技術を獲得できたか ・ プロジェクトへの貢献は十分であったか 自分たちが納得できる成果が得られたか？
合計点	74 /100	

(注)週報の不備を、システム情報科学実習のホームページ→週報の提出確認のページから確認すること。

2.理由

出席・週報についてはすべて不備なく十分な内容を提出できたのでこのような点数を付けました。中間発表会において、私たちのプロジェクトの発表方式は事前に公開した動画を再生しつつチャットで質疑応答を行い、それでも説明できない部分を動画再生終了後に口頭で説明するという方法でした。しかし聴講者にとっては認知的負担が高く理解してもらえていないようであったため4点を付けました。外部評価は、評価を得られるように十分な検討を行ったため8点を付けました。積極性・協調性については、積極的に自ら考案する機会が少なかったと感じているため6点を付けました。計画性について、プロジェクト全体でのグループ分けとスケジュール進行は、おおむね柔軟に対応できていたため16点を付けました。プロジェクトの成果については部分的ではありますが知識を身に着けた点とプロジェクトの自分の貢献度から標準点の14点を付けました。

3. 共同作業者によるコメント

コメンター氏名 奥村輝：

会議の際の発言をまとめてくれたり、やるべきことをしっかり把握していてとても助けられました。今後も一緒に頑張りましょう。

サイン 奥村輝

コメンター氏名 對馬武郎：

記録を書いてくれてとても参考になりました。

サイン 對馬武郎

コメンター氏名 山本侑吾：

このプロジェクトで書記を担当しており、とてもありがたいです。今後もロボット作り、一緒に頑張りましょう。

サイン 山本侑吾

3. 担当教員によるコメント

教員サイン 三上貞芳

教員サイン 鈴木昭二

教員サイン 高橋信行

学習ポートフォリオ_配属時

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行
氏名	須田恭平
学籍番号	1018097
クラス	C
現時点における学習目標は何ですか。 (複数回答可) プロジェクト学習を通じて習得したい 事柄を選んでください。	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行 う共同作業; 報告書作成方法; 学生同士での コミュニケーション; 教員とのコミュニケー ション
上の質問で「その他」を選んだ人は具 体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのような ことを行う必要があると考えますか。 (自由記述 200 文字以上)	上記の目標達成のためには、積極的に活動す る必要があると考えます。複数人で作業する 際にはリーダーに進行をすべて投げるのでは なく、自分からもできることを探し提案した りする必要があります。また、学生同士のコ ミュニケーションでは作業の進行具合を聞く などして、つまづいているときには助けた り、自分が困っているときには聞いて助けを 求めたりします。教員とのコミュニケーショ ンではプロジェクトの報告だけでなく作業で 行き詰った個所を積極的に相談するなどして 進めたいと考えています。
グループメンバーと協働することによ り、課題を見出し、解決できる	あまりできない
活動を成功させるために必要な努力を する自信がある	できる
証拠に基づいて意見を述べることがで きる	あまりできない
自分で行った結果に対して責任を持つ ことができる	まあまあできる

収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	あまりできない
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	できる
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	まあまあできる
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	できる
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	よくできる
情報を調査・整理・評価・伝達・共有する手段として ICT を利用できる	できる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	まあまあできる
どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	できる
さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探すことができる	できる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	できる
守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	できる
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	まあまあできる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	あまりできない
正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	できない

社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	できる
他者を信頼し、共感することができる	まあまあできる
活動を粘り強く行うために必要な集中力がある	まあまあできる
情報を批判的かつ入念に検討し、評価できる	まあまあできる

学習ポートフォリオ_中間

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行
氏名	須田恭平
学籍番号	1018097
クラス	C
配属時における学習目標は何でしたか。 (複数回答可)	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 報告書作成方法; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください.	
上記の目標達成のために、どのようなことを行いましたか。（自由記述 200 文字以上）	プロジェクト全体の進め方として、方針を全員で議論を進めていくと同時に書記として記録を取りました。議事録の作成をすることにより、なるべくわかりやすい文章で書くなどの工夫を行いました。これにより報告書の作成にも少なからず役に立つと考えています。また、複数人で行う共同作業と学生や教員とのコミュニケーションを円滑に進めるために Zoom や Discord を用いて通話を行いながら作業を進めました。これにより、疑問点の解消や議論をスムーズに進めることができました。
前期の活動を終えて、学習目標は変化しましたか？ 現時点（7月末）における学習目標を選択してください。（複数回答可）	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 報告書作成方法; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください.	

<p>(9 の質問で学習目標が変化した学生)</p> <p>学習目標が変わった理由は何ですか？</p> <p>(200 文字以上)</p>	
<p>後期，学習目標の達成のために，どのようなことを行う必要があると考えますか。</p> <p>(200 文字以上)</p>	<p>前期の学習目標において学生同士・教員とのコミュニケーションが達成できていません。対面で話し合いを行うことに比べると、現在のオンライン会議は話しにくく議論が活発になっていないように感じます。今後の方針を決めるのにも多くの時間を費やしました。自分も含めプロジェクト全員が意見を出しやすい状況にする必要があると考えます。また、グループごとの話し合いにおいても前期は積極的に参加できていなかったため後期では疑問点や案などを積極的に共有します。</p>
<p>前期の活動を振り返って，活動全体の印象や感想を書いてください。（自由記述 200 文字以上）</p>	<p>前期の活動においてはプロジェクトリーダーがメインとなって物事を進めていました。しかし、他のメンバーからの意見が出ずにプロジェクトリーダーの意見をそのまま反映させることもありました。この意見が全体の意見として一致しているのであればよいのですが、もし意見が出しにくい環境であるのなら、もう少し話しやすい雰囲気をプロジェクト全員で作っていく必要があるとも感じました。このプロジェクトの目的に応じたグループ分けや全体の方針はよく議論が行われ、現状ではうまく進んでいると思います。</p>
<p>グループメンバーと協働することにより、課題を見出し、解決できる</p>	<p>あまりできない</p>
<p>活動を成功させるために必要な努力をする自信がある</p>	<p>よくできる</p>
<p>証拠に基づいて意見を述べることができる</p>	<p>あまりできない</p>
<p>自分で行った結果に対して責任を持つことができる</p>	<p>まあまあできる</p>

収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	できる
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	できない
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	できる
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	まあまあできる
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	できる
情報を調査・整理・評価・伝達・共有する手段として ICT を利用できる	できる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	あまりできない
どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	できる
さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探すことができる	できる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	よくできる
守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	できる
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	できる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	まあまあできる
正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	まあまあできる
社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	まあまあできる

他者を信頼し、共感することができる	まあまあできる
活動を粘り強く行うために必要な集中力がある	できる
情報を批判的かつ入念に検討し、評価できる	まあまあできる
あなたは前期のプロジェクト学習に意欲的に取り組みましたか？	まあまあ意欲的だった
前期の活動を行ったことにより、あなたはプロジェクト学習の内容に興味を持てるようになりましたか？	興味を持てた
前期のプロジェクト学習の活動は、あなたの今後に役立つと思いますか？	まあまあ役に立つ
今後、同じようプロジェクトを行うことになったら、もっとうまくやれる自信がありますか？	まあまあ自信がある
前期のプロジェクト学習の活動に満足していますか？	まあまあ満足している
オンラインでの発表に関して、問題点の指摘や改善方法の提案などがあれば記してください。	